

2025 事業案内



公益財団法人
東京都農林水産振興財団
Tokyo Development Foundation
for Agriculture, Forestry and Fisheries

公益財団法人 東京都農林水産振興財団について

設立の目的

当財団は、東京都内において、農林水産業の担い手の確保・育成、経営基盤の強化、森林整備、試験研究の推進と成果の還元、農林水産資源の拡大などを通じて、食と緑に関する都民生活の向上に貢献するとともに、環境と調和する農林水産業の振興を図ることを目的に設立された公益財団法人です。

経営目標(2025年度)

- 1 農林業の担い手育成と経営基盤の強化
- 2 多摩地域の森林循環の促進と木材利用の拡大
- 3 先端技術を活用し東京の農林業の収益性を高める試験研究の推進
- 4 高付加価値を生み出す畜産の振興と水産資源拡大への貢献
- 5 豊かな食と緑の情報発信と持続可能な生産活動の推進
- 6 事業成果の公表並びに職員の主体的な力量と財団のプレゼンスの向上

事業体系



当財団は、東京の農林水産業を支援する事業部門と農林業の振興を支える試験研究部門から成り立っています。

ごあいさつ

(公財)東京都農林水産振興財団 理事長 寺崎 久明

当財団は、東京の農林水産業の維持・発展のため、担い手の確保・育成や経営支援、森林整備、種畜・種苗の生産配布など様々な事業に取り組んでいます。環境と調和する農林水産業の振興に加え、「稼ぐ農林水産業」の実現を目指し、2025年度は

- 新たな販路の開拓や販促活動支援など生産者の経営改善に資する取組
- 東京農業アカデミー八王子研修農場の運営による東京農業の担い手の着実な確保・育成
- SNSを活用したショート動画の配信による東京農林水産業の魅力発信
- 林業経営体への支援強化や林業労働力の確保と技術者の育成
- 国産木材の魅力発信拠点「MOCTION」及び、とうきょうの木^(*) 魅力発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」の運営などを通じた林業のPR
- 奥多摩やまめやトウキョウX(豚)などのブランド農水産物の生産及び流通の拡大など、都・区市町村及び関係機関と連携し、着実な事業展開を図ってまいります。

引き続き関係者各位、都民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(*)認証された多摩産材を「とうきょうの木」と呼んでいます。



(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 所長 濱松 潮香

東京の農林業の振興を支えるため、東京型スマート農業等による高収益型生産技術の実装と開発、高い競争力を有する新品種や新たな栽培技術を活用した東京オリジナル農産物の開発及び夏期の高温障害対策、低コスト・省労力化などを旨とした生産管理技術の開発にも取り組んでいます。

また、研究開発を効果的に進めるため、行政・普及機関、民間企業や研究開発法人、大学などとオープンラボ等を活用した連携強化を図っています。

皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



概要

名 称 公益財団法人東京都農林水産振興財団
所 在 地 東京都立川市富士見町三丁目8-1
評議員会 評議員15名
代 表 者 理事長 寺崎久明
役 員 理事8名 監事2名
基本財産 1,187,480千円
事業規模 9,792,923千円
(令和7年4月1日現在)

沿革

平成 3(1991)年3月 (財)東京都農林水産業後継者育成財団と
(社)東京都野菜価格安定資金協会とを発展的に解消し、
本財団を設立
平成 3(1991)年6月 農地保有合理化法人として指定される
平成 6(1994)年4月 東京都有機農業堆肥センター事業を開始
平成 8(1996)年4月 東京都青年農業者等育成センターに指定される
平成10(1998)年4月 (財)東京都森林整備公社と統合
東京都林業労働力確保支援センター、東京都緑化推進
委員会として指定される
平成14(2002)年4月 栽培漁業センター事業が(財)東京都島しょ振興公社から移管
都行造林管理事業を都から受託
平成15(2003)年4月 東京都肉用子牛価格安定基金協会として指定される
平成16(2004)年4月 奥多摩さかな養殖センター事業を都から受託
平成17(2005)年4月 農業試験場、畜産試験場、林業試験場を統合し、東京都農林
総合研究センターを設置、都から試験研究事業を受託
平成18(2006)年4月 東京都立食品技術センター事業を指定管理者として受託
(令和3(2021)年3月 指定管理期間終了)
平成22(2010)年4月 公益財団法人へ移行
平成25(2013)年4月 チャレンジ農業支援センターを開設
平成26(2014)年6月 多摩産材情報センターを開設
平成30(2018)年11月 肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者に
指定される
令和 2(2020)年4月 東京農業アカデミー八王子研修農場開設
スマート農業推進室開設
令和 2(2020)年12月 国産木材の魅力発信拠点MOCTIONを開設
令和 3(2021)年5月 東京トレーニングフォレスト開設
令和 5(2023)年9月 とうきょうの木 魅力発信拠点TOKYO MOKUNAVIを開設

組織図



東京農業の担い手育成と経営支援

農業支援課

就農相談

農家の後継者や都内で新規就農を希望する方への就農相談窓口を開設して、来所、オンライン面談、メール、電話による相談受付を行っています。



就農イベント出展(出張相談)

担い手の確保・育成

就農希望者や都内農業者等を対象に東京都指導農業士による農業研修を実施しています。また、農林水産物の担い手団体が経営技術向上のために実施する自主研究活動や講習会の開催等にかかる経費の一部を助成しています。

そのほか、安定的な農業生産を維持するため、農業者の出産・育児等による休業期間中の労働力確保に係る経費の一部を助成しています。



農業体験研修

就農準備支援事業

都内では農地が少なく、就農地の確保が課題となっています。都内で独立就農を目指す方など農地を確保できるまで一定期間の営農を支援するため、未利用都有地を活用した農場の整備・開設に向けて、東京都と連携して検討を進めています。

事業候補地	八王子市内
農場開設	令和7年度以降(予定)

援農ボランティアの養成と活動支援

農業に関心を持つ方々を対象に、区市町村の枠を越えて活動する広域型の援農ボランティアの登録派遣を行っています。

また、区市町村と連携して、地域農業の支え手として農家と共に農業生産を担う地域援農ボランティアの養成講座「東京の青空塾」を実施しています。



広域援農ボランティア(ジャガイモの収穫)

都市農地の保全

指定後30年経過等により買取り申出された生産緑地等を、区市が農的な利用を目的として購入し整備等する際に、経費の一部を補助しています。



事業が活用された生産緑地等

農業経営を支える

都内で生産されたキャベツや島しょ地域特産のアシタバなど、市場出荷物の価格安定を図るとともに、肉用子牛の生産や肥育経営を支援しています。



青ヶ島で生まれた牛たち

新しい農業経営へのチャレンジを応援 (チャレンジ農業支援センター)

東京の強みを活かした魅力ある農業経営の展開を図るため、経営改善にチャレンジする意欲ある農業者等に対して、専門家を派遣してアドバイスをを行うほか、新しい販路を開拓するナビゲータの派遣や販売促進・商品開発等新たな取組に必要な経費の一部を助成しています。



チャレンジ支援事業で作成した成果品

東京農業アカデミー八王子研修農場

都内で新規就農を目指す方を対象とする研修施設です。講義やフィールドワークなどを通じて、野菜の栽培技術や経営・販売ノウハウなど営農に必要な技術や知識を総合的に習得できます。

2年間の研修プログラムで「東京農業」を支えるプロ農家を育成しています。

開設以降、修了生は100%新規就農しています。



研修生と指導員(実習圃場にて)

都内産農林水産物の地産地消を推進

地産地消推進課

GAP認証農産物の流通促進や、都内産農林水産物の消費拡大を推進しています。

認証取得と流通促進

JGAP、SGEC、MELなど農林水産物の認証取得に必要な経費を補助しています。また、「新東京都GAP認証制度」を運営するとともに、展示会・商談会・販売イベントを通じて認証農産物の販路拡大やPRも行っています。



大規模展示会への出展

地産地消・食育の推進

東京の農林水産総合ウェブサイト「東京の恵み TOKYO GROWN」を通じて、都内産農林水産物の魅力を広く発信しています。令和7年度からは新規の取組として、SNSを活用したショート動画の配信もスタートします。また、都内で食育活動を行う民間団体に対する補助事業や、都内小学生を対象とした東京産食材レシピコンテストを開催します。さらに、地域特産農産物などを次代の東京産ブランド農産物に育成するため、生産からPRまでの活動を支援しています。

都民とのふれあい

農林水産業に対する理解を促進するため、生産者と消費者との交流活動やセミナーの開催、都内親子を対象とする農業・畜産・食育体験教室を開催しています。



農業・食育体験教室(都民交流事業)



森林の整備・保全と多摩産材の利用拡大

森の事業課

東京の森林の保全と木を感じる暮らしを実現するため、森を整備し、活かす取組を進めています。

森林整備

都民との協働による森づくり

都民や自治体、企業等の協力を得て、森林所有者と協定を結んで森林整備を行っています。

- 二俣尾・武蔵野市民の森
- 航空電子グループの森
- 奥多摩・武蔵野の森
- 森林整備都内連携事業
- 奥多摩・昭島市民の森

とうきょう林業サポート隊

東京の森林を整備するボランティアを募集し、伐採跡地等において、植栽、下刈、枝打ち等の活動を行っています（毎週水・金・土曜日）。



とうきょう林業サポート隊

分収林事業

森林所有者と契約を結んで、約150haの森林整備を行っています。

都行造林

東京都から多摩地域の約800haの森林を受託し、その管理を行っています。



都行造林

森で働く人への支援（林業労働力確保支援センター）

東京都から指定を受け、林業技術者の育成研修や林業経営体の確保・体制整備に取り組むとともに、労働安全向上や雇用改善への支援を行っています。

林業労働力総合対策事業

林業技術者の確保・育成、林業経営体の強化に向けた支援を行っています。

林業先進技術導入事業・林業機械化促進事業

林業経営体への先進林業機械の貸出及び林業先進技術導入の支援を行っています。

伐採・搬出技術者育成

伐採・搬出における高度な技術の習得支援を行っています。

都民と森林とのふれあい促進

都民が森林に親しみ、都民に森林の役割を理解してもらうため、森林浴登山や森林ふれあい教室などのイベントを開催しています。



森林浴登山

多摩産材の利用拡大

にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業・木の街並み創出事業

多摩産材・国産材の普及PRと需要拡大を図るため、民間施設において、壁や床の木質化、什器等に多摩産材を活用した場合又は建築物の外壁や外構に国産材（うち多摩産材を3割以上）を使用する場合に、その経費を補助しています。

中・大規模建築物の木造木質化支援事業

中・大規模の木造木質化建築物の建築を促進するため、主要構造部に国産材（うち多摩産材を3割以上）を使用する民間建築物（オフィスビルや商業施設等）の設計・施工に対してその経費を補助しています。

多摩産材情報センター

多摩産材に関する情報発信及び利用者と供給者のマッチング業務を行っています。また、多摩産材利用拡大フェアを年1回開催しています。

国産木材の魅力発信拠点「MOCTION」・とうきょうの木 魅力発信拠点「TOKYO MOKUNAVI」

新宿パークタワーOZONEの5階にて、全国各地と連携して国産木材の魅力を発信する拠点「MOCTION（モクショーン）」を、7階では「とうきょうの木」^(*)の魅力を発信する拠点「TOKYO MOKUNAVI（モクナビ）」を運営しています。

各ショールームでは、木を使いたい利用者と供給者のマッチングや、木製品の展示、林業体験のできるVRなどを設置しています。

^(*) 認証された多摩産材を「とうきょうの木」と呼んでいます。

木材利用ポイント事業

一定以上の多摩産材を利用した住宅の新築又はリフォームした方に対し、多摩産材、国産材の利用量に応じて東京特産物等と交換できるポイントを交付しています。

製材業供給力強化事業

多摩産材製品供給量の増大に向け、多摩産材認証制度登録製材業者の安全衛生対策に係る資格取得や、JAS認定取得に係る経費の一部を補助しています。



"とうきょうの木"ロゴマーク

花粉対策事業

花粉対策室・花粉の少ない森づくり運動

花粉飛散量を削減するとともに、多摩産材の安定供給を図っています。

森林循環に資する花粉発生源対策

花粉を多く発生するスギ・ヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギなどを植栽して花粉飛散量の削減に努めるとともに、シカ防護柵等の設置や下刈・間伐等の適切な保育を進めて、森林の循環を推進し、多摩産材の安定供給と東京の林業の活性化を図っています。

また、当事業により管理する森林については、SGEC（国際森林認証）を取得して、環境に配慮した持続可能な森林経営を実現しています。



主伐現場

都民・企業等と進める花粉の少ない森づくり

都民・企業等と進める花粉の少ない森づくり 都民・企業・団体からの支援により、「企業の森」「花粉の少ない森づくり 募金」「森づくり支援倶楽部」の3つを事業の柱として「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。

また、この取り組みをPRするため、YouTubeによる森に関する動画配信や情報誌の発行、植樹・イベントなどを実施しています。



東京森づくりチャンネル（YouTube動画）



畜産振興と水産資源拡大

事業課

東京の農林水産資源の安定供給を通じて、地域の生産現場と暮らしを支え、東京の畜産・水産業の振興に貢献しています。

青梅畜産センター

青梅畜産センターは、東京ブランド畜産物である「トウキョウX」、「東京しゃも」及び「東京うこつけい」の系統を維持し、種畜やひなを生産者に配付する事業を行っています。なかでも、系統豚「トウキョウX」の知名度は非常に高く、その肉は「TOKYO X」のブランド名で販売されています。

青梅畜産センターでは、施設の老朽化のため豚舎・鶏舎の再編整備を行いました。令和3年度より新施設の稼働が始まり、一層の東京の畜産振興を図っています。

また、トウキョウX生産者の拡大に向けたPR事業にも取り組んでいます。



トウキョウX

有機農業堆肥センター

有機農業堆肥センターは、環境と調和した環境保全型農業を推進するため、都内農業者および一般都民の皆様には「とうきょう元気堆肥」を販売しています。また、東京都エコ農産物認証、JAS、GAP等各種認証を取得した農業者に対する優先販売枠を設けています。

6年度からは、これまで廃棄していた「ふるいカス」を再利用して堆肥を増産するために粉碎機及び周辺機器を導入しました。さらに、定期的に堆肥の残留農薬に関する試験や成分分析を実施し、堆肥の安全性の確認や品質確保を図っています。



粉碎機

栽培漁業センター

栽培漁業センターは、栽培漁業（人工的に生産した魚介類の種苗を自然界に放流し、成長後に獲る漁業）の中核基地としてサザエ・クロアワビ・フクトコブシ稚貝の生産・配付を行っています。島しょ地域における水産資源の維持増大を図り、地域の基幹産業である漁業の発展と都民に新鮮な魚介類を安定的に提供することを目指しています。また、温暖化などの気候変動に対応した貝類種苗生産技術の改良や、ニーズの変化に対応した魚類や藻類を対象とした調査検討もを行っています。



飼育水槽中のサザエ稚貝

奥多摩さかな養殖センター

奥多摩さかな養殖センターでは、ニジマス・ヤマメ・奥多摩やまめ・イwanaを養殖し、種苗（卵や稚魚）を生産して、河川漁協や養殖業者に配付しています。配付された種苗は河川に放流されるほか、養殖業者で大きく育てられて民宿や飲食店などで提供されています。

当センターでは、入川飼育池と海沢飼育池の2か所で、稚魚の飼育と配付、親魚の養成と採卵を分担して行っています。



奥多摩やまめ(上)と通常のヤマメ(下)

緑の募金・緑化推進

緑化推進室・農業支援課

緑の募金・緑化推進

東京都内において「緑の募金」活動を行い、区市町村・ボランティア団体・学校等と連携し、森林整備や都市緑化を推進しています。また、森と緑に関するイベント出展等を通じて緑化活動の普及を推進しています。



イベントでの緑の募金活動



ボランティア団体等と連携した森林整備活動

街の緑を育てる

東京を緑豊かな都市とするため、市街化区域内及び市街化調整区域内の農地で緑化用苗木を生産しています。これらの苗木を、公共用の植栽のために東京都や区市町村に供給しているほか、イベント等で都民配布しています。



都民への苗木配布



セイヨウウカナメモチの苗木畑



試験研究

農林総合研究センター

東京における農林業分野を担う公的試験研究機関として、行政・普及機関等と密接に連携しつつ、近年の社会環境の変化と都民の幅広いニーズに対応した試験研究・技術支援業務に取り組んでいます。

現在、重点的に取り組む研究課題として、(1)東京型スマート農業等による高収益型生産技術の開発、(2)高い競争力を有する東京オリジナル農産物の開発、(3)夏期の高温障害対策、低コスト・省労力化などを旨とした生産管理技術の開発を掲げています。

研究企画室〈立川庁舎〉

農林総合センターの総合企画、管理運営を所管し、産学公連携による分野横断的共同研究の推進や外部資金の獲得、都民や事業者に向けた研究成果の積極的公表、農業後継者への技術研修などの業務を行っています。



都民向け研究成果発表会



都内先進農家への視察研修

スマート農業推進室〈立川庁舎〉

東京型スマート農業の発展と一層の普及を図るため、研究員、普及指導員、生産者などが課題ごとに生産者圃場などのオープンラボに集い、技術の実装と開発をさらに進め、現場での課題解決を進めています。



ラジコン草刈機を使った草刈作業

園芸技術科〈立川庁舎〉

野菜、果樹、花き等の園芸分野を担い、生産性や品質向上に向けた栽培技術の開発や、バイオテクノロジー等を活用し、高品質・高付加価値な東京オリジナル品種の育成などに取り組んでいます。



東京特産ブドウ「高尾」の根域制限栽培

生産環境科〈立川庁舎〉

農作物の生産環境分野を担い、農産物の安全性確保技術や病虫害総合管理技術(IPM)、土壌の適正管理技術の開発などに取り組んでいます。



コマツナの病害(黒斑病)

畜産技術科〈青梅庁舎〉

牛、豚、鶏等の畜産分野を担い、高品質で安全な東京ブランド畜産物の開発や維持改良、畜産の生産性向上技術、人工繁殖技術の有効利用、都市における畜産環境問題解決のための技術開発などに取り組んでいます。



生乳の検査(体細胞数計測)

緑化森林科〈立川庁舎〉

緑化及び森林分野を担い、様々な都市空間における緑化技術並びに緑化植物の生産技術の開発や緑化場面を彩る新しい樹種の選定及び開発、森林産業の育成や豊かな森づくりに向けた技術の開発や獣害対策などに取り組んでいます。



無花粉スギの選抜試験地

江戸川分場

江東地域における園芸分野を担い、高度集約型園芸技術の開発や、特産園芸作物における生産性・商品性の向上のための技術開発と品種の選定・導入などに取り組んでいます。



茶豆風味エダマメの品種比較試験



事業所一覧

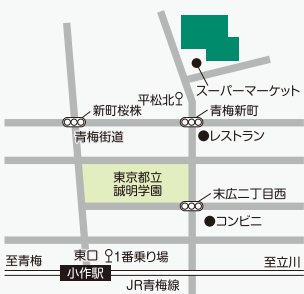
立川庁舎



〒190-0013 立川市富士見町3-8-1

アクセス
JR青梅線「西立川」駅南口徒歩7分
JR中央線「立川」駅南口より西武バス立川駅北口行き10分「農業試験場前」下車すぐ

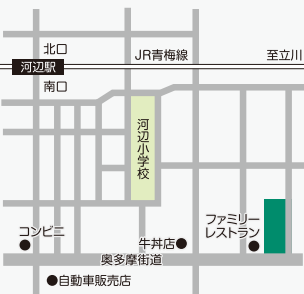
青梅庁舎



〒198-0024 青梅市新町6-7-1

アクセス
JR青梅線「小作」駅東口徒歩25分
西東京バス三ツ原循環西廻り10分「平松北」下車徒歩3分

東京都青梅合同庁舎



〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1

アクセス
JR青梅線「河辺」駅南口徒歩10分

農林総合研究センター江戸川分場



〒133-0073 江戸川区鹿骨1-15-22

アクセス
JR総武線「新小岩」駅南口より京成バス江戸川スポーツランドまたは瑞江行きで15分「農業試験場」下車徒歩5分

- 東京農業アカデミー八王子研修農場
〒192-0034 八王子市大谷町1013 **042-649-3444**
- 栽培漁業センター
〒100-0101 大島町元町字和泉99-5 **04992-2-3461**
- 多摩産材情報センター
〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1（東京都青梅合同庁舎内） **0428-20-1181**

事業公式サイト



TOKYO GROWN
<https://tokyogrown.jp>

東京の農林水産業の現在をタイムリーに発信します。東京産食材が食べられるお店、楽しめるスポットなど、東京の食や自然の魅力をお伝えします。




とうきょう林業サポート隊
<https://ringyou-support.tokyo>

ボランティアとして、多摩地域の森林で植栽や下刈り等の森林作業をすることで森づくりをサポートしよう！活動の様子や参加申込みはこちらからご覧ください。




花粉の少ない森づくり運動
<https://moridukuri.tokyo>

「花粉の少ない森づくり運動」に関する詳しい情報や各種イベント情報、企業の森での活動の様子などを随時更新しています。




とうきょう援農ボランティア
<https://www.agrivolunteer-tokyo.jp/>

援農ボランティアに参加しよう！東京都内で参加できる援農ボランティアの最新情報をお届けします。




東京農業アカデミー八王子研修農場
<https://www.nogyoacademy.tokyo/>

東京農業の新たな担い手を育成するため、都内で就農を目指す方を対象とした研修施設です。ここでは農業全般に関わる座学研修から、就農に結び付く実践的な実習研修を行います。




国産木材の魅力発信拠点 MOCTION
<https://moction.jp/>

さあ！あなたもMOCTIONははじめよう！MOCTIONは、国産木材活用やオフィス木質化に興味のある方々を「活かす繋げる」活動の場です。




東京農林水産ファンクラブ
<https://www.tokyo-aff-fc.jp/>

マルシェ出店や各種イベント・キャンペーンなどを通じて、東京の農林水産業のブランド・イメージ向上を図ります。会員限定イベントやプレゼント企画などの会員特典もご用意しています。




多摩産材情報センター
<https://tamasanzai.tokyo/>

多摩産材利用拡大と多摩地域の林業・木材産業の活性化を図ることを目的に多摩産材の情報発信及び利用者と供給者のマッチング業務を行っています。




とうきょうの木 魅力発信拠点 TOKYO MOKUNAVI
<https://tokyomokunavi.metro.tokyo.lg.jp/>

東京の森林と、とうきょうの木の恵みを感じることができる体験型ショールーム。ご家族連れからビジネスユーザーまで「木」を学び、楽しむことができる施設です。




林業就業NAVI
<https://ringyou-navi.tokyo/>

東京林業労働力確保支援センターでは一緒に林業に関わっていただける方々に向けて、情報を発信しています。




石巻市産物加工センター



この印刷物は再生紙を使用しています。